



◇巻頭言 いっしんどうに『ヤマユリの育つ茅場』創りましょう

活動を始めて今年は14年目、来年は節目の15年目を迎えるに当り保全活動の主題に『結果の見える保全活動』を挙げたいと思っております。

継続した保全活動により、色々と変化が現われてきてはいますが、念願のいっしんどう広場での中秋の月とススキでの観月会は実現を見ていません。今年は『いっしんどう作業エリア』を特に重視し、瀬上の実生樹であるコナラ、クヌギ、カエデ等の植樹、茅場を育成するための草刈りと刈り取った雑草等の搬出を徹底させ、その後にススキの移植を行ないます。

いっしんどう広場は円海山近郊特別緑地保全地区の玄関口です。春に新緑の森にヤマユリ、秋に黄葉した木々とススキ、保全活動の結果が見えてくるような景観になるよう協力をお願い致します。



(渡邊富男記)

●平成29年5月・6月の活動予定

原則、小雨決行です。中止の場合は緊急連絡網(am7時頃)で連絡致します。

1) 5月7日(日)9時半～12時

・集合場所:公田竹林西駐車場

・身近な環境活動の実践(公田竹林の保全作業)

・作業内容:不要竹(筍)の蹴っ飛ばし駆除と枯竹の除伐、片付け作業。

・持ち物 :竹引きノコ、ナタ、飲料水、その他必需品。

※手提げビニール袋を各自持参すること。

2) 5月14日(日)9時半～14時半

・集合場所:池の下倉庫

・作業目的:在来種(実生樹)の育苗畑の開設と管理方法の検討。

・作業場所:北谷戸、カエデ樹の近辺

・作業内容:カエデ、ケヤキ等の育苗作りと育苗種の植え付け。

・持ち物 :常備具(ノコ・ナタ・カマ)、弁当、飲料水、その他必需品。

【持参器具】作業旗、スコップ、唐クワ、救急箱、刈払機

3) 5月28日(日)9時半～14時半

・集合場所:池の下倉庫

・作業目的:景観保全型落葉広葉樹林地を目指した保全作業。

・作業場所:いっしんどう作業エリア A1側、氷取沢斜面地

・作業内容:進入竹の除伐、アオキ・シロダモ・罹患木の除伐。

- ・持ち物 :常備具(ノコ・ナタ・カマ)、弁当、飲料水、その他必需品。
【持参器具】作業旗、シート、チェーンソー、救急箱、ロープ、刈払機

4)6月11日(日)9時半~14時半

・集合場所:池の下倉庫

- ・作業目的:多様性保全型針広林を目指した保全作業。
- ・作業場所:中尾根作業エリア休憩所上部と大丸広場側
- ・作業内容:アオキ・シロダモ・罹患木・枯れ木の除伐。
- ・持ち物 :常備・ナタ・カマ)、具(ノコ弁当、飲料水、その他必需品。
【持参器具】作業旗、シート、チェーンソー、救急箱、ロープ、チルホール

5)6月25日(日)9時半~14時半

・集合場所:池の下倉庫

- ・作業目的:管理型スギ林を目指した保全作業。
- ・作業場所:尾根道作業エリアの大丸広場側
- ・作業内容:アオキ・シロダモ・罹患木・枯れ木の除伐。
- ・持ち物 :常備具(ノコ・ナタ・カマ)、弁当、飲料水、その他必需品。
【持参器具】作業旗、シート、チェーンソー、救急箱、ロープ、チルホール

(29年7月号の原稿に関し、上記活動報告は高嶋光夫氏、巻頭言は佐谷光雄氏、リレートークは小嶋泰家氏です。原稿の締め切りは29年6月26日(月)枝村氏迄宜しくお願いします)作業を欠席される方は、メール(TOKAMI6666@aol.com)又は電話(894-2800)で山上部会長迄。

【樹林地部会 活動日誌】

報告者 伊藤真砂繪

(1) 平成 29年3月12日(日)晴時々曇り 池の下広場 9:30~13:30 バケツ持参
参加者: 渡邊富, 伊藤, 高嶋、渡部, 山上、枝村, 長谷川, 佐谷, 上手, 三島, 小宅、竹内、前村、星野、石渡 計15名、

活動内容: 中尾根にて育苗中のコナラ等苗木9本をA1下へ移植。それに伴う下草刈りを行った。3/26を花見にする旨。4/16には『瀬上さとやまもりの会』総会があるので出欠、委任状等対応確認。1/28区役所での『自然体験教室』竹材残処理の為、渡邊、佐谷、小宅が区役所へ立ち寄り整理した。



苗は何処に植えるか



丈夫に育てよ!



杭も添えて

(2)平成 29 年 3 月 26 日(日)雨天の為中止(連絡網使用するも不備あり)

原則、小雨決行です。中止の場合は緊急連絡網(am7 時頃)で連絡致します。

(3)平成 29 年 4 月 9 日(日)雨 9:30~10:30 新規活動地を含め今年度の樹林地部会簡易総会となった。

参加者：渡邊、渡部、山上、上手、三島、高嶋、酒巻、伊藤 計 8 名

新人酒巻氏(磯子区)の紹介。今年度新規活動予定地の紹介、A 4 旧研修地下の 6 千~9 千 H A と漆窪 E 8 の大丸広場側の同等領域。

(4)平成 29 年 4 月 16 日(日)晴『瀬上さとやまもりの会』総会 於セキレイ団地集会室

参加者：樹林地部会より 山上、三島、小宅、佐谷、高嶋、前村、野沢、星野、伊藤、酒巻、戸賀澤(新人)の計 11 名出席。

議事に先立ち生き物部会木村氏による、カエルの講演があった。出席者 20 名、委任状 19 名で総会は成立し、議案内容は全て承認された。

(5)平成 29 年 4 月 23 日(日)晴 9:30~13:30 いっしんどう広場 A 2 下

参加者：浅見、石渡(マミちゃん)、伊藤、枝村、小宅、小嶋、佐谷、上手、高嶋、竹内、長谷川、三島、星野、山上、山田(新人)、渡邊、渡部 計 17 名

久しぶりのお天気にラジオ体操も気持ち良く、いっしんどう広場 A 2 下の草刈り。バインダー 2 台を使い、移植したコナラ周りも含め下草刈りに精を出す。

会費納付と、本部総会委任状者へ遅ればせながら議案書配布。新加入山田氏(栄区)の紹介。昼食を挟み下草刈りを続け、将来ススキ野原を夢見た。



作業前



黄色のヘルメットも活躍



大勢で、バインダーもフルに

◆ リレートーク 自然に親しみましょう

石渡孝二

この間の公田竹林での竹の伐採と竹細工で参加者から大変喜ばれたとの報に接しましたが、当方でも孫に「竹箸」と「ぼっくり」を一緒に作って大変喜ばれました。

当会の来年度の活動も小学生の参加をどんどん取り入れていったらよいと思います。

最近の若者は山に入ることが少なくなっているが、自然に親しむことで身体健康に良く、生物との対面で精神衛生上からも非常に良い効果が期待できると思います。

親子の殺人事件など従来考えられないことが起きていますが原因は何なのか。なぜ従来はなかつたいやな事件が起こるのでしょうか。人間不信になるようなことが起きる原因は何でしょうか。年寄りの私たち大人の責任です、何かできることをしておきたいと思う今日この頃です。



◆ 編集後記

通信が隔月発行となった。総会とか色々報告事項多く、我日記と照らし合わせの記述となった。記憶が曖昧なのと、活動写真を改めて観て気づいた事もあって、難しいものだと思いました。

4月13日横浜市が力を入れている『第38回全国都市緑化フェア』で整備された『里山ガーデン』へ行って来ました。ズーラシアに隣接した郷で綺麗な所でした。高齢の臨時職員？が雑草を花の間から一本一本抜いているのを目撃（ここは種を蒔いたのでどうしても雑草が生えるのだ）と地道な活動に頭が下がります。桜も間に合いました。中山駅経由だとバスと地下鉄利用で、福祉パスのある人は何とか無料で行ける！急に緑区を近く感じました。（伊藤）

